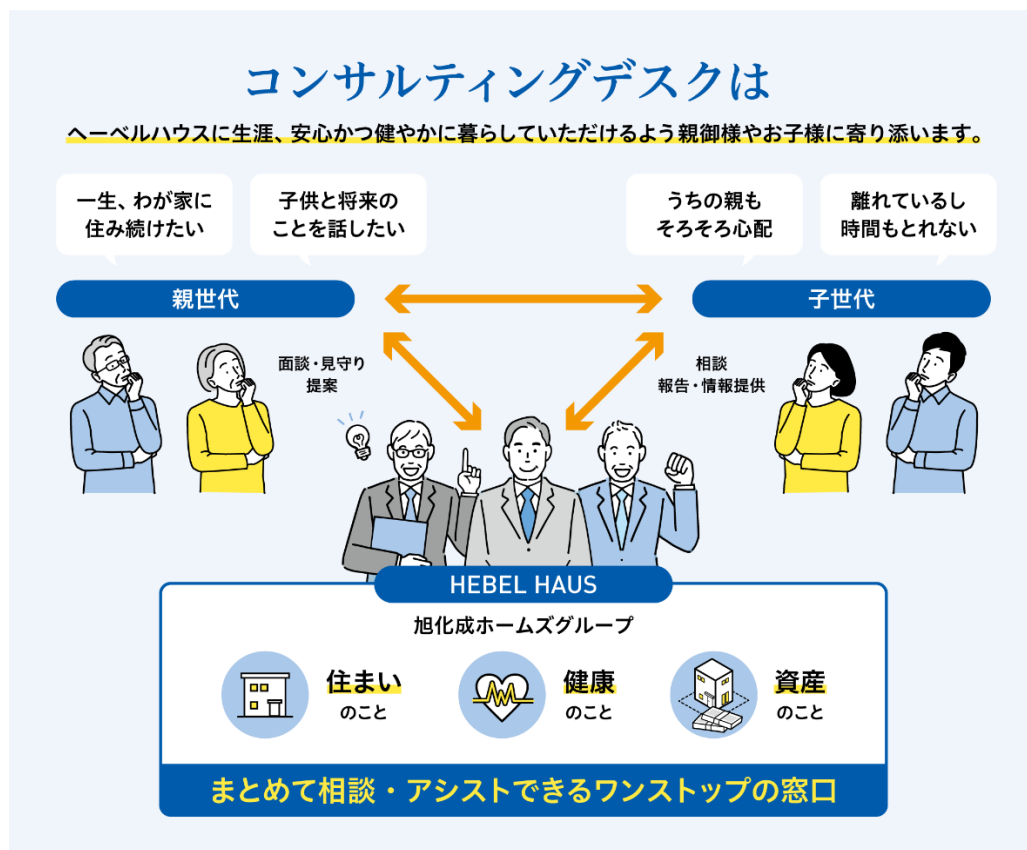


## お客様の「いのち・暮らし・人生」を支え続けるハブステーション 「コンサルティングデスク」を新たに設置 ～サービス第一弾「暮らしの提案サービス」の提供を開始～

旭化成ホームズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川畑 文俊)は、戸建住宅「ヘーベルハウス」顧客及びヘーベルメゾンオーナーからの、住まいや資産、健康の異なる3分野に関する相談を一括して受け付け、グループ内外各社と連携を取りながら総合的な提案を行うハブステーションを担う「コンサルティングデスク」を設置しました。あわせて同デスクによるサービス第一弾となる「暮らしの提案サービス」を5月8日より提供を開始いたしますのでお知らせいたします。

### ■「コンサルティングデスク」概要

- ・対象 : ヘーベルハウスに入居するお客様及びそのご家族様(ヘーベルメゾンオーナー様及びそのご家族様)
- ・取り扱い内容 : 住まい、資産、健康に関連するご相談受付や、相談の内容に応じた提案、および社内外を含む事業者への取次など
- ・展開エリア : ヘーベルハウスを展開する全エリア



「コンサルティングデスク」サービスイメージ

## ■ サービス第一弾「くらしの提案サービス」概要

- ・対象 : ヘーベルハウスに入居する 65 歳～80 歳台のお客様及びそのご家族様のうち、本サービスをご要望頂いた方
- ・ご提案内容 : 住まい・お金(資産)・健康に関して無料にてご相談を受け付け
- ・ご提案方法 : 2 度の面談・ヒアリングを通して伺った情報を元に、現状の整理及びコンサルティングデスク側で気付いたことや今後のご提案内容を、提案書の形でご提示
- ・サービス開始日 : 5 月 8 日
- ・展開エリア : 東京・神奈川の一部(順次エリアを拡大予定)

**室内の温熱環境をチェック**  
「室内温度と健康状態は密接な関係があります。室温が低いと血圧上昇につながり、空気が悪いと室内での熱中症リスクが高まります。また室内での湿度(ヒートショック)は特に危険がかり、生活活動量と湿度を減らし運動機能的低下も招かれます。よく換気する際の室温を室温が18度以上20度以下に保つことが必要です。」

**高齢者の生活内費が多いものベスト3**  
1位 介護施設利用料(平均: 約53,400円)  
2位 介護保険料(平均: 約10,000円)  
3位 医療費(平均: 約10,000円)

**高齢者の生活内費が多いものベスト3**  
1位 介護施設利用料(平均: 約53,400円)  
2位 介護保険料(平均: 約10,000円)  
3位 医療費(平均: 約10,000円)

**元気で過ごさるためのヒント**  
健康寿命延長には、より早く介護やフレイルの「予防」に取り組むことが効果的です。フレイル(前兆)の段階で予防に取り組めば、健康な状態に戻ることも可能です。介護予防からフレイル予防へ

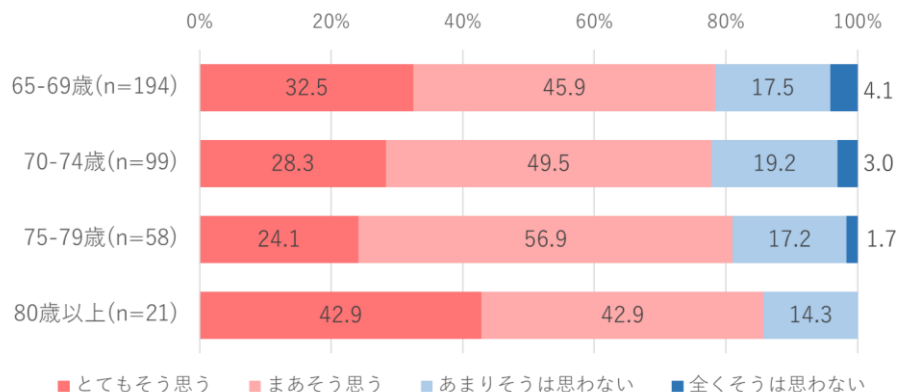
**マネープラン キャッシュフロー表のご紹介**  
～将来に向かっての家計収支を「見える化」しませんか～

「くらしの提案サービス」で提供する提案書

## ■ 背景

当社は1972年の会社設立以来、戸建て住宅「ヘーベルハウス」および賃貸住宅「ヘーベルメゾン」の提供を通して、長く、安心・快適な住まいの提供に努めてきました。1998年にはそのような当社の想いを、住まいのハード・ソフト・サービスを軸として表現した「ロングライフ住宅の実現」を宣言しています。さらに2019年には、人生100年時代の到来によって人々の価値観や住まいのあり方がますます多様化したことなどを受け、建物のロングライフだけでなく、そこに住まう人びとの

(図1) 介護が必要な状態になっても、この家に住み続けたいか



シニアライフ研究所：2017年「60代からの暮らしと意識調査—親子交流と健康について—」(ヘーベルハウス入居者：N=597)より

「いのち・暮らし・人生」全般を支え続ける LONGLIFE な商品・サービスを追求することを新たに発表しています。

一方で当社のシニアライフ研究所では、ケアマネジャー・社会福祉士などの専門スタッフを含む研究チームをハブステーションとして、当社顧客とその子世帯と連携を取りながら暮らしにおける様々な相談を受け、それに合わせたサービスの利用や行政機関相談などへの連携を取る試みを 2015～18 年の間で 3 回実施しました。さらにその結果から、「住まい」「お金・資産」「健康」を切り口としたトライアルサービスを開発し、2020～22 年に 3 回、モニター顧客への提供を実施しています。「コンサルティングデスク」や「暮らしの提案サービス」はこれら一連のトライアルと検証等を経て、顧客ニーズを踏まえて設置したものです。

2017 年に当社顧客に行った調査では、回答者の約 8 割が要介護になっても今の家に住み続けたい希望があることが分かっており(図 1)、人生 100 年時代を生き抜くこれからのお客様にとって、住まいや資産、そして健康にかかわる様々な状況に合わせた手厚いサービスが不可欠であると考えております。

当社はこれからも人々の「いのち・暮らし・人生」全般を支え続ける LONGLIFE な商品・サービスの提供に努めることで、お客様を含めた社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

**【問い合わせ先】**

旭化成ホームズ株式会社 広報室 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地  
(電話) 03-6899-3010 (FAX) 03-6899-3400 (メール) j-koho@om.asahi-kasei.co.jp